



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月31日

上場会社名 椿本興業株式会社
 コード番号 8052 URL <http://www.tsubaki.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 香田 昌司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 春日部 博
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-4795-8806

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	79,619	3.0	4,373	5.7	4,694	4.7	3,136	2.9
2019年3月期第3四半期	77,300	11.1	4,136	81.2	4,482	73.8	3,048	75.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 3,143百万円 (87.1%) 2019年3月期第3四半期 1,680百万円 (△33.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	501.02	—
2019年3月期第3四半期	486.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	73,904	26,281	35.3
2019年3月期	75,739	24,089	31.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 26,051百万円 2019年3月期 23,876百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	30.00	—	120.00	150.00
2020年3月期	—	30.00	—		
2020年3月期(予想)				90.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※ 2019年3月期の期末配当金には、特別配当30円が含まれております。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	△6.9	4,730	△16.8	5,000	△16.9	3,450	△16.0	551.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	6,497,969 株	2019年3月期	6,497,969 株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	237,239 株	2019年3月期	237,030 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	6,260,838 株	2019年3月期3Q	6,261,217 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	10
・ 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、米中間の貿易摩擦が継続し、日本企業にも多大な影響が occurring 懸念の中、比較的安定した推移を続けてまいりました。

このような状況下において、当企業グループでは、比較的好調な業種を中心に国内外での設備投資需要に積極的に対応してまいりました。

この結果、受注高は前年同期に比べ減少いたしました。これは、前年同期に受注した親会社の中国向けの大口案件が当期には一巡したこと、製造業を中心とした民間設備投資マインドが、従来に比し一段と慎重になっていることなどによるものであります。一方、売上高につきましては、高水準なグループ全体の受注残高を順調に売上計上することができたことにより、前年同期を上回ることができました。

これらにより、利益面でも各利益が増益となり、第3四半期累計期間での売上高・各利益について連結・単独ともに過去最高を更新しております。

当第3四半期連結累計期間の業績は、

売上高	796億19百万円	(前年同期比 103.0%)
営業利益	43億73百万円	(前年同期比 105.7%)
経常利益	46億94百万円	(前年同期比 104.7%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	31億36百万円	(前年同期比 102.9%)

となりました。

報告セグメントの業績は以下のとおりです。

東日本本部

北海道・東北・甲信越・関東地区が担当エリアであり、全体の売上高の約32%を占めております。

当第3四半期連結累計期間は、食品、物流関連業界等への設備投資需要に寄与したものの、客先への納期が遅れ気味となり、売上時期が第4四半期にずれ込んだものも発生し、売上高は、255億83百万円（前年同期比97.4%）となりました。

西日本本部

東海・北陸・関西・中国・四国・九州地区が担当エリアであり、全体の売上高の約51%を占めております。

当第3四半期連結累計期間は、液晶画面関連製造装置の大口設備装置が順調に売上計上していることに加え、他の設備装置案件等の売上が寄与したことにより、その売上高は、408億99百万円（前年同期比108.2%）となりました。

開発戦略本部

当企業グループ全体の海外ビジネスやマテリアルビジネスを担当し、それらビジネスの拡大や、制御・センシングビジネスに向けた新商品の開発にも取り組んでいる部門で、その売上高は全体の約17%を占めております。

当第3四半期連結累計期間は、海外子会社については、中国における売上高が若干減少いたしましたものの、その他の地域については堅調であります。また、マテリアルビジネスについては、介護・衛生関連商品にかかる不織布等の売上は堅調であります。制御・センシングビジネスについても前年同期に比べ着実に売上高を増加させております。これらを合計した売上高は、131億37百万円（前年同期比99.2%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

① 資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は739億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億34百万円減少いたしました。流動資産は21億94百万円減少いたしました。主な要因は、電子記録債権が7億12百万円、受取手形及び売掛金が51億24百万円減少した一方で、現金及び預金が29億11百万円、仕掛品が4億18百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は、3億59百万円増加いたしました。主な要因は、関東に事業用土地を取得したことにより土地が3億40百万円増加したこと等によるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は476億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ40億26百万円減少いたしました。流動負債は41億5百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が46億1百万円、未払法人税等が6億9百万円、前受金が16億26百万円減少した一方で、電子記録債務が30億27百万円増加したこと等によるものであります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産の部は262億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億91百万円増加いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を31億36百万円計上した一方で、配当金の支払いを9億39百万円実施したこと等によるものであります。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、四半期連結会計期間末日満期手形、電子記録債権及び電子記録債務が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の我が国経済は、消費税増税による国内消費減退など、製造業を中心とした景況判断が悪化傾向となり、依然として先行きが不透明な状況であります。国内の設備投資についても省力化投資以外の設備投資意欲は弱く、価格競争の激化が続くと思われれます。

このような状況下、当企業グループにおいては、人手不足に伴う省力化投資情報などを積極的に捉え、既存顧客への新たな商品提案、I o Tに対応した新商品の開発等を継続的に実践し、特に受注獲得に全力をあげる所存です。

なお、第3四半期までの実績を踏まえ、現在までの受注状況や受注残高の推移を総合的に判断した結果、下記の業績予想を据え置かせていただきます。

(通期連結業績予想)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)
通期	100,000	4,730	5,000	3,450

(通期個別業績予想)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)
通期	93,000	3,550	4,500	3,200

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,115	21,026
受取手形及び売掛金	30,224	25,100
電子記録債権	10,086	9,373
商品及び製品	2,399	2,589
仕掛品	569	988
その他	2,026	2,130
貸倒引当金	△207	△188
流動資産合計	63,214	61,019
固定資産		
有形固定資産	1,383	1,736
無形固定資産	159	124
投資その他の資産		
投資有価証券	9,875	9,836
長期未収入金	1,359	1,358
その他	1,258	1,340
貸倒引当金	△1,512	△1,510
投資その他の資産合計	10,982	11,024
固定資産合計	12,525	12,885
資産合計	75,739	73,904
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,839	13,237
電子記録債務	23,497	26,524
未払法人税等	1,137	527
前受金	5,800	4,174
役員賞与引当金	11	50
工事損失引当金	—	10
偶発損失引当金	208	208
その他	865	521
流動負債合計	49,359	45,254
固定負債		
退職給付に係る負債	1,829	1,884
長期未払金	213	213
繰延税金負債	27	43
その他	219	226
固定負債合計	2,290	2,369
負債合計	51,650	47,623

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,945	2,945
資本剰余金	1,805	1,805
利益剰余金	16,324	18,522
自己株式	△489	△490
株主資本合計	20,586	22,783
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,456	3,439
繰延ヘッジ損益	△1	0
為替換算調整勘定	38	13
退職給付に係る調整累計額	△203	△184
その他の包括利益累計額合計	3,289	3,268
非支配株主持分	212	229
純資産合計	24,089	26,281
負債純資産合計	75,739	73,904

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	77,300	79,619
売上原価	65,173	66,982
売上総利益	12,127	12,636
販売費及び一般管理費	7,990	8,263
営業利益	4,136	4,373
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	306	295
持分法による投資利益	53	35
その他	57	54
営業外収益合計	419	388
営業外費用		
支払利息	2	2
売上割引	44	41
為替差損	7	5
その他	19	18
営業外費用合計	74	67
経常利益	4,482	4,694
特別利益		
固定資産売却益	—	3
投資有価証券売却益	—	50
特別利益合計	—	53
特別損失		
事務所移転費用	5	—
事務所改装費用	—	15
特別損失合計	5	15
税金等調整前四半期純利益	4,477	4,732
法人税、住民税及び事業税	1,411	1,535
法人税等調整額	10	38
法人税等合計	1,422	1,574
四半期純利益	3,055	3,157
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	20
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,048	3,136

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
四半期純利益	3,055	3,157
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,362	△17
繰延ヘッジ損益	0	1
為替換算調整勘定	△5	△4
退職給付に係る調整額	6	18
持分法適用会社に対する持分相当額	△13	△12
その他の包括利益合計	△1,374	△13
四半期包括利益	1,680	3,143
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,671	3,115
非支配株主に係る四半期包括利益	9	28

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結累計期間において、TSUBACO VIETNAM CO.,LTD.を新たに設立したことに伴い、同社を持分法適用の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	東日本 本部 (百万円)	西日本 本部 (百万円)	開発戦略 本部 (百万円)			
売上高						
外部顧客への売上高	26,269	37,789	13,241	77,300	—	77,300
セグメント間の内部 売上高又は振替高	417	681	781	1,880	△1,880	—
計	26,687	38,470	14,023	79,181	△1,880	77,300
セグメント利益	1,290	3,033	503	4,827	△690	4,136

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,827
セグメント間取引消去	△0
全社費用(注)	△690
四半期連結損益計算書の営業利益	4,136

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	東日本 本部 (百万円)	西日本 本部 (百万円)	開発戦略 本部 (百万円)			
売上高						
外部顧客への売上高	25,583	40,899	13,137	79,619	—	79,619
セグメント間の内部 売上高又は振替高	265	536	635	1,437	△1,437	—
計	25,848	41,435	13,773	81,057	△1,437	79,619
セグメント利益	1,227	3,492	544	5,264	△890	4,373

(注) 各セグメントに属する主要な商品は下記のとおりであります。

セグメント別	主要商品名
東日本本部	変減速機等各種駆動部品、コンベヤチェーン等各種搬送部品、制御機器、各種センサー、電子機器、その他伝動機器
西日本本部	クリーンエネルギー関連設備、医薬関連設備、化学機械装置、水処理装置、食品機械、その他環境装置、工作機械、産業用ロボット、各種コンベヤ、各種自動化装置、立体倉庫及び自動仕分装置、各種輸送装置を含むFAシステム
開発戦略本部	海外における上記商品 各種不織布及びその加工品、各種合成樹脂成形機及び成形品、機能素材

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,264
セグメント間取引消去	△5
全社費用(注)	△885
四半期連結損益計算書の営業利益	4,373

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他

・補足情報

受注、販売及び仕入の状況

① 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期増減比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期増減比(%)
東日本本部	25,035	△14.8	14,583	△5.7
西日本本部	34,490	△21.0	21,731	△30.9
開発戦略本部	12,759	△12.4	4,682	△22.0
調整額	△1,636	—	△2,040	—
合計	70,649	△17.1	38,956	△23.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期増減比(%)
東日本本部	25,848	△3.1
西日本本部	41,435	+7.7
開発戦略本部	13,773	△1.8
調整額	△1,437	—
合計	79,619	+3.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 仕入実績

当第3四半期連結累計期間における仕入実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	仕入高(百万円)	前年同四半期増減比(%)
東日本本部	22,376	△3.8
西日本本部	34,860	+7.3
開発戦略本部	11,781	△4.6
調整額	△1,437	—
合計	67,579	+2.1

(注) 上記の金額は、仕入価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。